

# 校長のつぶやき

校長室便り 第10号

令和元年5月21日 山内



○卒業生の活躍

～東北楽天ゴールデン・イーグルス 今野龍太投手（平成26年3月卒）～

5月19日（日）新聞の第1面に「楽天・今野待望の初勝利 宮城出身の生え抜き初」とウイニングボールを片手に平石監督とともに満面の笑みの写真で大きく取り上げられました。

5月18日（土）千葉で行われたロッテ戦で高卒6年目にして初勝利をあげた投手のことです。本校の卒業生、皆さんの先輩です。今野龍太さんです。

今野さんは当時の星野仙一監督からその才能を買われ、2013年のドラフト会議で楽天から9位指名され本校初のプロ野球選手として入団しました。その年のドラフト1位は甲子園で22奪三振記録を引き下げ鳴り物入りで入団し、現在楽天の守護神として活躍中の松井裕樹投手でした。2014年入団当時の背番号は「99」しかし、校長室に飾られてあるサインには2016年12月の背番号は「090」、初勝利の新聞に写る姿は背番号「98」とプロ生活6年の間に3度も登録番号が変わっています。どうしてでしょう。今野さんは入団した2014年に5試合、2015年に2試合一軍のマウンドを経験しています。私も実際に試合で投げる姿を見ました。しかし、右膝の怪我で2016年からは支配下登録選手から外れて背番号が「090」になったのです。校長室のサインはその当時のものでしょう。今野さんはその後、リハビリに懸命に励み、2017年に再び支配下登録選手となりました。その当時旧背番号の「99」は梨田監督がつけていましたので、今野さんは現在の背番号「98」となったのだと思います。

5月18日（土）のプロ初勝利の試合は前半1対4とリードされて6回から登板し、2回を無失点に抑えチームの逆転勝ちの流れを引き寄せました。実は、3日前の5月15日（水）楽天は仙台で行われた日ハム戦で4回まで8点もリードされていました。二番手投手として今季初登板の今野さんが5回から7回の3回を無失点に抑え、チームの延長11回大逆転勝利の流れを作っていました。初勝利への道のりはこの時にできあがっていたのかもしれません。

プロ入りのころの写真も校長室に飾ってあります。満面の笑み、まだ高校3年生ですし体もほっそりしています。その二年後怪我により育成契約となった時はまさに「どん底」を味わったのだと思います。諦めずにリハビリに励み、再び支配下登録を勝ち取った今野さんに、8点差で諦めるような弱気な心などなく、粘り強く取り組みば必ず夢は叶うと教えてくれました。初勝利の写真に写る6年前とは比較にならないほどガッチリとした身体はリハビリとトレーニングの大変さを物語っています。

本年11月14日（木）創立90周年記念式典が行われますが、我々現在の生徒・職員はもちろん、今野さんの活躍は全国にいる岩高卒業生の方々にどれほどの勇気と希望を与えたか計り知れません。これからもみんなで今野先輩を応援しましょう。では今回の校長のつぶやきはこれでお終いです。

「逆転をたぐり寄せたる快投は 岩高生への粘れのエール」

